

事例IV

■はじめに

①まずは、答案用紙に受験番号と名前を書く

■基本の公式

$$\text{売上高利益率} = \text{利益}/\text{売上高} \times 100 (\%)$$

$$\text{資産回転率} = \text{売上高}/\text{資産} (\text{回})$$

$$\text{自己資本比率} = \text{自己資本}/\text{総資産} \times 100 (\%)$$

$$\text{負債比率} = \text{負債額}/\text{自己資本} \times 100 (\%)$$

$$\text{流動比率} = \text{流動資産}/\text{流動負債} \times 100 (\%)$$

$$\text{当座比率} = \text{当座資産}/\text{流動負債} \times 100 (\%)$$

$$\text{当座資産} = \text{現金} \cdot \text{預金} + \text{受取手形} + \text{売掛金} + \text{有価証券}$$

$$\text{固定費率} = \text{固定資産}/\text{自己資本} \times 100 (\%)$$

$$\text{固定長期適合率} = \text{固定資産}/(\text{自己資本} + \text{固定負債}) \times 100 (\%)$$

$$\text{損益分岐点売上高} = \text{固定費}/(1 - \text{変動比率}) = \text{変動費} + \text{固定費}$$

$$\text{損益分岐点比率} = \text{損益分岐点売上高}/\text{実際売上高} \times 100 (\%)$$

$$\text{安全余裕率} = (\text{実際売上高} - \text{損益分岐点売上高})/\text{実際売上高} \times 100 (\%)$$

$$\text{数量差異} = (\text{標準数量} - \text{実際数量}) \times \text{標準価格}$$

$$\text{価格差異} = (\text{標準価格} - \text{実際価格}) \times \text{実際数量}$$

$$\text{税引後CF} = \text{税引後営業利益} + \text{減価償却費}$$

$$= (\text{CIF} - \text{COF} - \text{減価償却費}) \times (1 - \text{税率}) + \text{減価償却費}$$

$$\text{FCF} = \text{税引後営業利益} + \text{減価償却費} - \text{運転資金増価額} - \text{投資額}$$

$$\text{企業価値} = \text{FCF}/\text{加重平均資本コスト}$$

$$\text{企業価値} = \text{株式価値} + \text{負債価値}$$

$$\text{定率成長モデル} = \text{1年後の配当金}/\text{期待収益率} - \text{配当金の成長率}$$

$$\text{期待値} = \text{カジキ変に} \oplus \text{チョアヘンザ}$$

$$\text{共分散} = (A \text{の偏差} \times B \text{の偏差} \times \text{確率}) \text{ の合計}$$

$$\text{相関係数} = \text{共分散} / (A \text{の標準偏差} \times B \text{の標準偏差})$$

①経営分析の記述キーワード

- ・収益性

高い：高評価技術力、固定客・人気

低い：丁寧な対応でコスト増、材料の価格高騰、販管費（コスト）増加、一部店舗の業績不振

- ・効率性

高い：顧客評価、物件収入、高品質製品

低い：固定資産増加、収益のない用地取得、取引先依存、古い店舗の集客力低下＝売上減少

- ・安全性

高い：負債が少ない

低い：多額借入による利息負担、在庫増加、負債依存、借入による資金調達・利息

⇒ポイント

- ・安全性が良好なパターンは少ない、借入・負債が多い場合は利息にも十分注目する

- ・顧客からの高評価は数値と照らして、＝売上良好のため、収益性・効率性いずれの要因にもなる

- ・収益性悪化要因の基本はコスト負担増加

- ・効率性悪化要因の基本は有形固定資産の効率性悪化

④独立記述問題の解答ポイント

- ・財務指標への影響、財務的効果が問われたら⇒収益性・効率性・安全性への影響を答える

例：投資の財務影響＝売上向上による収益性改善と資金借入による安全性の悪化

- ・あとは1次知識で対応する

- ・オプション系は

オプション＝為替差損時のみ対応可能、オプションプレミアムがデメリット、コール・プット書く

為替予約＝メリットは為替差損の回避、デメリットは為替差益享受不可